

各位

～日本養鶏産業研究会（JPISTRA）・第 6 回研究セミナー開催のお知らせ～

主催：日本養鶏産業研究会（JPISTRA）  
後援：福島県養鶏協会・株式会社 PPQC

拝啓、盛夏の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当研究会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当研究会は平成 14 年に日本採卵養鶏産業研究会（JLIST）として発足し、当初は採卵養鶏現場のテーマを主としましたが、第 3 回目～第 5 回目までテーマを鳥インフルエンザ問題に絞って取り上げました。

第 4 回目より広く養鶏産業全体の問題をテーマとすべく日本養鶏産業研究会（JPISTRA）と改称致しました。

生産現場の課題を公平な議論を基に学識経験者・消費者・流通・行政・報道等、広く関係各界との相互理解を重視し、盛況のうちに都合、5 回のセミナーを開催して参りました。

次回、第 6 回セミナーのテーマにつきまして理事諸氏からご意見を賜りました結果をふまえ、現在 EU 諸国で制度化されつつある動物愛護（アニマルウェルフェア）と最近注目されている食品の安全性に関し、鶏卵・鶏肉について各界を代表する方々にご講演をいただき、皆様と共に考えてみたいと存じます。

フロアーからの発言をもとに各テーマ毎にディスカッションを進めて行く予定です。

皆様にはご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、より多くの方々のご参加を願い、有意義な会議と致したく下記の通りご案内申し上げます。

尚、下記案内は PPQC ホームページ (<http://www.ppqc.co.jp>) に掲載し、都度アップデート致しますのでご参照いただきたくお願い致します。

敬具

## 記

### 1 開催日時

第一日目 平成 20 年 11 月 5 日（水曜日）午後 1 時 30 分～5 時 00 分

第二日目 平成 20 年 11 月 6 日（木曜日）午前 9 時 00 分～午後 4 時 30 分

### 2 開催要領

#### (ア) セミナー会場

福島県二本松市 陽日の里\_\_あずま館コンベンションホール

(TEL : 0243-24-2211)

アクセス：(詳細は別紙) 新幹線郡山駅・福島駅に送迎バス、在来線二本松駅に送迎車をご用意いたします。

#### (イ) 懇親会・宿泊

東三番館（セミナー会場と棟続きの姉妹館にてセミナー終了後係りのもののご案内します。

#### (ウ) 参加費

一人 金 25,000 円（口演要旨代金・宿泊費を含む）

但し、宿泊を希望されない参加者は一人 金 15,000 円

二日目の昼食につき弁当をご希望の方は総合受付で引換券(1,050 円)をご購入下さい

**(エ) 参加申し込み**

別添のセミナー参加申込書を下記、事務局宛 FAX 又は郵送にてご返送頂きたく  
お願いいたします。

**(オ) 事務局・担当者**

(株)ピーピーキューシー研究所内 石井真起子・加藤麻衣・奥田和久

TEL : (代表) 0243-24-2523 FAX : 0243-24-2657

メールアドレス : m\_ishii@ppqc.co.jp

**3 講演者**

**(ア) 田中智夫 先生**

- 麻布大学 大学院、大学院動物応用科学専任主任
- 快適性に配慮した家畜の飼養管理に関する勉強会 専門部会 科学的  
知見分析グループ委員

**(イ) 伊藤壽啓 先生**

- 鳥取大学農学部獣医学科 公衆衛生学分野 教授)
- 農林水産省 家畜衛生部会・家きん疾病小委員会の専門委員会である高  
病原性鳥インフルエンザ感染経路究明チーム委員
- 鳥由来人畜共通感染症疫学センター 所長

**(ウ) 伊藤正史 先生**

- イトーヨーカ堂 QC 室・前食品担当総括マネージャー
- 東京海洋大学客員教授
- 内閣府食品安全委員会・企画専門調査会専門委員

**(エ) 品川邦汎 先生**

- 岩手大学農学部獣医学科 応用獣医学講座 食品安全学研究室 教授  
農学博士

**(オ) 佐子哲也 先生**

- JA 全農たまご(株) 常務取締役 東日本営業本部長

**(カ) 加藤宏光 先生**

- 本研究会会長
- (株)PPQC 代表取締役 農学博士

**(キ) 奥田和久**

- 本研究会事務局
- PASKO 代表

#### 4 セミナー内容

##### (ア) 第 1 日目

- ① 鳥インフルエンザ (HPAI) 情報提供
  - ◇ 伊藤壽啓 先生・加藤宏光 先生
    - 野鳥の HPAI に関する事
    - サーベイランス体制
    - 韓国の事情

##### (イ) 第 2 日目

- ① アニマル ウェルフェア (AW) について講演
  - ◇ 田中智夫 先生
    - ヨーロッパ (EU) の観点
    - 農水省の方針
    - 先進国のエリア別特徴
    - 畜種別基準策定スケジュール
  
- ② 食品の安全性について講演
  - ◇ 品川邦汎 先生
    - 食品の安全性についての概説
  - ◇ 伊藤正史 先生
    - 量販店の品質管理上の立場から鶏卵・鶏肉のみならず食品全般の商品としての問題点
  - ◇ 佐子哲也 先生
    - 鶏卵 (鶏肉) に対する食品としてのテーマとその方向性
- ③ クレーム問題実態調査報告
  - ◇ 奥田和久 先生
    - 鶏卵・鶏肉 (採卵業、ブロイラー、廃鶏処理業) に関するクレーム体験につきアンケート収集又は聴き取り調査を実施し、整理・分類し実情を客観的に説明する。(匿名)

#### 5 今回テーマに対する当研究会のスタンスと方向性

##### (ア) アニマルウェルフェア(AW)に関して

- AW のテーマとしては育種改良が進み、高性能を発揮する能力持つ家禽にはそれなりの改善・改良された飼育条件が必要とされる事を取り上げたい。
- 日本の AW の現状はまだ受け身の段階と感じられる。
- 今回の研究会 (JPISTRA 6) を業界の AW に対する意識改革につなげる一方、AW の議論について業界内で終始しては意味がうすいので、業界と消費者、流通・行政・マスコミ・食品業界等を含めた形でセミナー、講演会等を開催することを本研究会が中心となって企画する事で業界の AW 問題に対する考えを関連各界にアピールする重要な機会としたい。

##### (イ) 食品の安全性とクレームについて

- 食品の安全性についての概説と養鶏生産製品に関する問題点の整理、生産者・加工・販売・消費者の流れの中での実情と対策をクレームの実態を参考に議論し、相互理解と共通認識を得たい。

##### (ウ) 鳥インフルエンザ(HPAI)に関する情報提供

- HPAI に関する情報は毎回継続的テーマとして取り上げる。

以上



各位

日本養鶏産業研究会（JPISUTRA）第6回セミナーの講演要旨集に掲載する広告を募集しております。ご希望の方は下記申込書に必要事項ご記入の上、事務局まで FAX 送信いただきたくお願い申し上げます。

日本採卵養鶏産業研究会  
事務局

第6回 日本養鶏産業研究会（JPISUTRA）セミナー・講演要旨広告掲載申込書

平成 20年 月 日

御社名

住所：〒

TEL：

FAX：

記

該当箇所を○で囲って下さい。

● 広告 申込み

● 広告サイズ・費用 （振込み手数料はご負担願います）

|                  |      |       |       |
|------------------|------|-------|-------|
| A)1 ページ (モノクロ)   | 4 万円 | (カラー) | 12 万円 |
| B)半ページ (モノクロ)    | 2 万円 | (カラー) | 6 万円  |
| C)表紙裏・裏表紙裏 (カラー) |      |       | 12 万円 |

(お願い)

- ① 広告を申込んで下さる場合には、広告のデザインの原紙を承りたく存じます。つきましては、広告デザイン原紙を下記住所まで 10 月 10 日（金）（到着）までにご返送下さいますようお願い申し上げます。
- ② 広告費用につきましても 10 月 10 日（金）までにご入金願います。

広告費用振込先

●大東銀行 二本松支店  
普通 1394483  
口座名 日本養鶏産業研究会 (ニホン ヨウケイ サンギョウ ケンキュウカイ)  
代表 加藤宏光

<申込書 FAX 返信先>

株式会社 ピーピーキューシー

964-0062 福島県二本松市岳温泉大和 125-7

TEL：0243-24-2523

FAX：0243-24-2657

担当：総務 石井真起子